

天長節祭と律令祭

今上天皇ご即位後最初の天皇誕生日の二月二十三日。天智天皇の時代の近江令施行の日と伝えられるこの日、近江神宮では御創建当初から律令祭を執り行っています。今年からは天長節祭の日にも当たることになり、天長節祭と律令祭とを合わせて斎行しました。今後毎年このように行うこととなります。

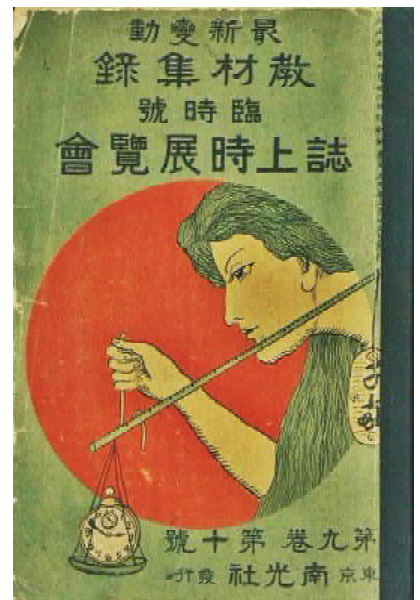
なお、近江令施行の日は『日本書紀』天智天皇十年一月六日の条に「官位法度の事を施行」とあり、この日が現行の暦では二月二十三日に当ることとなります。

天皇陛下ご即位初めての天皇誕生日の皇居参賀が行われるはずであったところ、新型コロナウイルスによる感染症の拡大の恐れを考慮して中止となりました。その後、各種の行事が軒並み中止や延期となり、学校や幼稚園も休校休園を迫られるに至り、また外出自体を避けるような風潮が拡がり、非常時の様相となつてしまいました。何とか新型感染症の早期収束を祈る次第です。

時の記念日百周年

大正九年（一九二〇）に時の記念日が定められ、今年が百周年を迎えます。明治五年の改暦・定時法採用から四十数年を経た当時、時間を守ることが社会の近代化に不可欠なことを考えられ、生活改善の一環として時間を守ることが重視され、設けられました。

その後現在では日本社会は時刻に厳密なことでは世界に冠たるものと見なされるに至りました。その反面時間に追いまくられ忙しすぎる時代への反省もあり、すべての人に平等に与えられている時間というものを見つめなおすことの大切さも語られるようになってき



誌念日記念の時の第一

ました。時の記念日の行事は近江神宮の漏刻祭以外にも、現在も各地で行われています。東経一三五度の子午線の町であり、日本標準時のもとになっている兵庫

明石市では、自治体・経済界・各種団体が一丸となって、時のウィークの名称で時の記念日の前後1週間に各種のイベントを開催しています。江戸時代から伝わっている時の鐘や時の太鼓を鳴らす行事が行われている所も十数か所にのびります。

時の記念日を振り返り、現代に行かすことを考えていただくため、大正九年の第一回時の記念日の紹介、現在行われている各地の時の記念日行事の紹介などを中心に、四月下旬から時の記念日・漏刻祭をはさんで六、七月を目途に、時の記念日百周年記念企画展を近江神宮時計館宝物館で開催します。

あわせて六月前半の二週間ほど、大阪時計組合の企画で毎年行われている時の記念日絵画コンクールの昨年の入賞作品を外拝殿に展示します。

建國記念の日の奉納揮毫

二月十一日の建國記念の日、「和プロジェクトTAISHI」（宮本辰彦氏代表）の主催により、外拝殿で滋賀県書道協会理事長の神田浩山氏の奉納揮毫が行われました。「世界平和」「今日も生



涯の一日なり（福沢諭吉の言葉）」との文字が書かれています。二点の揮毫の合間には佐藤宮司の龍笛の演奏も行われました。

同会は、和と愛の精神を広めて恒久平和を求めることを主眼にした活動を展開している団体で、一昨年建国記念の日に檀原神宮・宮崎神宮で奉納揮毫を行って以来、建国記念の日の神社への奉納としては三回目となり、本年は伊勢の神宮をはじめ各地の十一の神社で、それぞれの地方の書家による揮毫

が行われました。和の精神に基づいて世界平和に貢献するため、また天皇陛下のお言葉にたびたび見られる「世界平和」を各会場で揮毫してもらったとのこと。

このほか各地の神社仏閣などに世界平和祈願の揮毫を奉納し、昨年と一昨年の四月三日（聖徳太子の十七条憲法制定の日）大津市・西教寺など各地の寺院で奉納、今年の四月三日には延暦寺で、やはり神田浩山氏の揮毫が行われることになっています。

宇佐山城

戦国時代の武将、明智光秀を主人公としたNHKの今年の大河ドラマ「麒麟がくる」が放映され、岐阜県、京都府などとともにゆかりの地として盛んに観光宣伝などが行われています。

近江神宮の背後に宇佐山という標高三百メートルあまりの山があり、その中腹に地元の氏神・宇佐八幡宮があります。近江神宮はこの山ふところに鎮座しているわけですが、ここには戦国時代に宇佐山城が築かれています。

元亀元年（一五七〇）に織田信長は宇佐山城を防衛戦として、すぐ北の壺笠山城を拠点とする浅井・朝倉連合軍と対峙しました。これを志賀の陣といいます。この戦鬪で城主森可成は討ち死にしたものの城は守られ、明智光秀が城主となり、織田信長による比叡山攻撃はここから指揮したといわれます。その後明智光秀は坂本城を居城とし、宇佐山城は廃されました。現在山上にはNHKの中継塔が建てられています、その足元には宇佐山城の石垣が現われています。



宇佐山城跡の石垣

春から初夏の祭典・行事

三月十七日	午前十一時	祈年祭
四月二十日	午前十時	例祭 勅使参向
四月二十六日	午後二時	近江まつり子供みこし渡御（本年中止）
四月二十九日	午前十一時	昭和祭
五月十七日	午前十一時	崇福寺鎮魂供養祭（崇福寺跡にて）
六月七日	午後〇時三十分	流鏝馬神事
六月九日	午前十時	献茶祭
六月十日	午前十一時	漏刻祭
六月二十八日	午前十一時	献菓献煎茶祭
六月三十日	午前十一時	日供神饌講社大祭 饗宴祭
六月三十日	午後四時	大祓式

講社通信は近江神宮ホームページでカラーで見られます。

<http://www.oumijingu.org/>「日供神饌講」ページ